

鶴ヶ島市立藤小学校学校運営協議会議事録

会議名 令和5年度第2回鶴ヶ島市立藤小学校学校運営協議会

日時 令和5年6月24日（土曜日） 11:10～12:00

場所 藤小学校会議室

委員 出席名 欠席名

10:15～11:00 授業参観

- ・公開日につき、保護者も参観しています。ご了承ください。
- ・各教室廊下では、校内硬筆展を開催中です。

11:10～ 協議会

1 開会のことば （教頭）

2 会長あいさつ （会長（欠席）副会長代行）

コロナ前の姿に近づいてきたが、感染に気をつけてほしい。

3 校長あいさつ （校長）

- ・マスクをはずす子も増えたが、外せない子もいる。
- ・コロナ感染 児童5人、職員2人。換気等気をつけながら活動。
- ・放課後教室（中央支え合い協議会） 放課後の受け皿として協力に感謝
地域と子供たちのつながりを作れればと思っているのでご意見をお願いします。

4 協議および懇談

(1) 本校の様子

- ・校長から最近の様子を説明

(2) 校内参観の感想

- ・元気良くやっている。あいさつは親同士あまりしていない。先生に対して子供たちはフレンドリーで、先生が身近にいてくれる。1年生もタブレットを使いこなしている。タブレットの画面が小さいのでは。タブレット仕様で文字を書かなくなる心配があったが、硬筆が上手に書けている。
- ・1年生落ち着いている。2年英語音楽が流れているのが良かった。前は騒がしかったが、親が来ているからかもしれないが、落ち着いていた。
- ・コロナを気にせず、大きな声で発言できていた。落ち着いている。1-3一人ひとり発表できていてすごい。
- ・2年生の図工では、コの字の机配置で仲良く話し合いができて、子供も良いと言っていた。

- ・先生が学年や状況に応じて教えることに苦労していると感じた。児童の集中力を高めることに苦労してゐるのではないか。動きのある発表等で学ぶ。体育タブレットを使っているが、活気がないように感じた。自分の動作に集中できるが、栽培した野菜は給食に使うのか→児童が持ち帰り
- ・板書やプリントからモニターに。落とし物が多い。記名で落とし物を減らせる。保護者にも記名を呼びかけ。
- ・落とし物の周知を公開日前にC4thに掲載しては。持ち帰るときの記入用紙を用意する。

(2) 地域連携について

① あいさつの向上のために

- ・子供の登下校や遊んでいるときの声掛けは子供が警戒してしまうのでどうしたらよいか。
- ・安全な場所（学校）でなら挨拶できる。
- ・学校に来る機会を作る。外で知らない人に声をかけられてもあいさつできない。
- ・協議会の案内は子供が届けていた。知らない人を減らす。
- ・あいさつ運動に賛同する人に腕章を配ってつけていた。スクールガードはベストがある。
- ・中学生が小学校に来ての小中連携のあいさつ運動。

② 地域と学校の連携について

- ・地域の方への感謝集会ができるとうい。
- ・子供たちとのコミュニケーションの機会を作る。
- ・昔遊びの会を復活できれば。コロナやインフルエンザは心配であるが、屋外なら可能になるのでは。
- ・学校行事でなく体協主催で、お互いに興味のあること（グランドゴルフ）を老人会と一緒に定期的で開催するのはどうか。

(3) その他

- ・協議内容について、記入用紙を前回もらっていただければ考えてくれた。
- ・コロナにより自治会の活動が停止していたが、コロナ後に会員の意識が変化している。子供との連携を取りたいが、子供の意識がどう変わったのか。
- ・（校長より）学校でのマスクは任意とし、手指消毒、換気に努めている状況である。まだマスクを外したくない子は多くいる。
- ・次回の開催について（教頭より） 11月13日 開催予定

5 閉会の言葉 (教頭)